

第1回 学校生活部会 会議報告

日 時:令和7年2月17日(月)

17時～18時25分

場 所:川岸小学校2階 ふれあい教室

○次 第

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 部会の役割と会議の進め方について
- 4 意見交換
- 5 閉会

○部会で確認した部会内容

- ・本部会のそれぞれの役割と会議の進めかたについて(資料No.1)
- ・学校行事、縦割り活動の検討、児童・生徒会、生徒指導方針、制服・体操着・学用品等の検討について
- ・学校生活部会の今後のスケジュール(案)の確認
- ・制服・体操着のアンケートの実施の確認
- ・小中学校それぞれの年間スケジュールの確認(資料No.2)
- ・義務教育学校の先進地視察について説明(資料No.3)と保護者や市民の意見まとめ

○部会で出された主な意見

【学校行事について】

- それぞれ小中学校で現在行っている大きな年間行事をまとめた資料をもとに説明。
これをもとに、現在小中学校が別々で行っている行事を一緒に出来るものが何かを探り、合同で行う学年のくくりを決めて、学校全体の行事を決めていきたい。

意見交換:

- ・中学校の行事の中に、新たに何か行事を入れるのは厳しいが、出来るかとしたら、始業式・終業式・避難訓練あたりか。
- ・文化祭や音楽会を一緒に行う場合、児童生徒のほかに保護者もいることを踏まえると全校で行うというのは場所的にも現実的ではないと感じる。
- ・9学年全員が集まって開催できる場所があるかという問題。児童生徒だけなら小中の体育館いずれに入るが、保護者を呼ぶ行事でどのように行うか。
- ・卒業式は小学1～2年生が長い時間に耐えられるか。
- ・現在、小学校の入学式には新1年生と6年生のみ。卒業式は小中学校とも全校で開催。合同で行う場合、保護者も入るのでどう工夫するか検討が必要。
- ・入学式は新1年生、卒業式は9年生のみ。6年生は卒業式ではなく、前期課程修了式とし、開催するかどうか、この部会で検討していく。

- ・7年生の後期課程の開始の式は行われていないのか、次回までに確認する。
- ・現在、音楽会が午前中のみで終わってしまうが、昔は1日ばかりだったので、合同で出来ると良いと思う。
- ・運動会は厳しいか。文化祭は全校で出来ると楽しいと思うが、低学年の児童が中学の文化祭を見て刺激になるところが多いが、委員会の発表などの理解は難しいため、5～6年生を招待する形で行えると良いのでは。
- ・部活について、現在6年の息子が中学に入るときに、中学で部活として続けるか、校外のチームに所属するか悩んでいた。6年生から部活の体験ができるとありがたいと感じた。2月に部活の体験があり、そこで中学生と一緒に練習ができ、部活に決めて良かった様子。6年生位から体験することで、部活でのびのびやる方か、チームに入って頑張るか、体験を通じて決められると良い。
- ・小中一貫校の校長と話をする機会があった。6年生のリーダーシップ力が弱くなる傾向があり、義務教育学校になって初めて分かったという事だった。小中一緒になることで、良い面もあれば、弱点となる面も出てくると思うが、お互いに行ったり来たりして交流ができると良い。学校デザイン部会で検討していると思うが、めざす教育像(学校像)などを示してもらおうと議論しやすい。

【児童会・生徒会について】

- 小学生は4年生から6年生で活動。中学生は学友会として2年生の12月から3年生の12月まで活動。

意見：

- ・中学校の規模ならできる事があるが、9学年全体での活動となると難しい。小規模のものを9学年で交流ができればいいと思う。
- ・一か所の放送室から音声や映像などを小中学校全体に放送できる設備があると給食の時間に色々紹介したり、テレビ放送などで共有できると良い。放送委員会が全校からアンケートを取り、企画を考えることも出来る。全校が同じ時間を共有できるとすれば、給食の時間になるか。
- ・小学校の「児童会まつり」はどんなことをしているのか
⇒それぞれの委員会が、委員会名にあった出し物を企画する。例えば、整備委員会はゴミの分別競争をするなど。全校が縦割り班(10人位)にまとまってウォークラリー形式で行動し、各委員会の出しものを体験するとスタンプがもらえる。
- ・中学校の委員会の形式は、小学校 4・5・6 中学1・2の5学年で運営することになるか。
⇒小学校、中学校それぞれの組織として活動した方が良いのではないかと。必要に応じて共同で出来ることを見つけた方が動きやすい。
- ・6年生が小学校前期課程の児童会長としての役割を果たしていくにあたり、小中一貫校となったことにより、中等部への準備学年として後期校舎を使用する場合、5年生と連携して行う必要もあるし、学友会と融合できる部分があるのではないかと。
- ・小学校の役員と中学校の委員長が委員長会を開き、委員同士顔を合わせて、一緒にできる活動がないか、話し合いをすることで、小中通して繋がりのある委員会になるのではないかと。たとえば、校内あいさつ運動などは、小学生が中学校に行って朝のあいさつ運動をすることなども出来ると思う。

- ・本来6年生がリーダーシップを発揮する部分で、9学年全体の児童生徒会を作ることによってリーダーシップ力が無くなってしまう可能性があるなら、6年生が前期課程をまとめて引っ張っていくという形をとった方がいいのかとも思う。
- ⇒視察した横浜市の義務教育学校では、児童会と生徒会を別々に運営しており、6年生が生徒会役員選挙に参加している形を取っていた。
- ・放送設備については、小中の切り替えをどのように行うか(全部一緒にした方がいいか、又は別々に切り替え可能とするか)、設計業務の方で議論している最中。一緒になってやる事や別々で動くことも必要ということがわかったので、設計に反映させていただく。

【制服・体操服・学用品について】

- ・今年度の学友会で決まった登下校時の制服着用について、報告したい。気候変動のこともあり、衣替えのタイミングで制服を着用するという決まりは撤廃して良いのではないかという意見が出て、校長先生に最終判断をお願いしている。校長の考えとしては、そもそも制服がありなのか、必要ないのかを含めて検討すべきということで、一旦保留となっている。
- ・今年1年間、生徒指導の担当をする中で中学校の生活の決まりのあり方も検討すべき時期に来ていると感じる。川岸学園の開校に向けて勝手に進めるわけにはいかないと考えている。中学は制服について、決まりがあるが、川岸学園独自のものを小中擦り合わせて作成する必要があるか。
- ⇒令和9年に向け、小中の擦り合わせを行えばよいと思われる。現在の決まりは、実情に合わせて変更してよい。
- ・制服の方針は時間がかかるので、開校時に間に合わないということが無いよう早めに動いていく必要がある。小・中学生にそもそも制服が必要か、どんな制服が良いか等のアンケートにより意見を聞いたほうがよい。
- ・他校でも制服の在り方について生徒会で動いているところがあると聞いているが、4中学合わせて制服を考える事になるか。
- ⇒川岸学園が動き始めることで、他校も動き始めると思う。校長会でも制服については情報交換し共有している。川岸学園がアンケートなどを行うことで、他の3中学校もアンケートを取ってみようかという話が出てくるのではないかな。
- ⇒川岸学園が4中学校の制服を決めるわけでもなく、他の中学校がその制服を採用するか否かが決まっているわけでもない。現在、北部中ではジェンダーレスの制服について、生徒会が動いて勉強を始めているが、その制服が採用されるという事でもないのだから、川岸学園は川岸学園として独自に検討を進めていけば良いと思う。
- ・制服の選定において、業者選定からデザイン、サンプル作成等にかかなりの時間がかかるので、早めに動いて情報交換できると良い。
- ・清潔感の面からすると、制服は頻繁に洗うことが出来ないのだから、反対に不衛生ではないかと感じるので、洗える生地の方がよい。運動着も動きやすく、見た目にカチツと感のあるポロシャツとかでもいいのではないかな。
- ・小学生の時はあまり服装の事を言われぬのに、中学に入って、急にすごく厳しくなるのだから、ギャップがあり、親としても戸惑う。

【クラブ・部活動について】

- 小学生でのクラブは、児童全員が授業時間内に行うクラブが年間で10時間程(2時間を5回)ある。部活動として合唱部が年間を通じて活動している。陸上部が夏の大会前に活動している。
- 中学では必修クラブはなし。部活は吹奏楽部、陸上、男女バスケ、卓球、サッカーがある。あとは社会体育で活動している生徒もいる。
- ・部活動が増えるという選択肢はないか。減らしていく方向性しかないように見える。
- ⇒先生方も手一杯な状態。2年前に女子バレーが廃部となった際は、部員も少なくなり、指導できる先生もいなかった。水泳や新体操など、個人で大会に出場している部員もいるが、そこに顧問の先生が必要なので、複数の種目を掛け持ちしている状況。
- ・先生の人数が増えれば、種目を増やすことも可能だが、生徒の数が減少傾向にある中で不安定であること、また部活の地域クラブへの移行の流れがある中で、他の中学と合同で行うという動きが出ているので、生徒の選択肢は増えるかもしれない。

【その他】

- ・デザイン部会に関係する内容だが、時間割の編成時期について、職員会で話題となった。6年生が中学になじむように時間割編成が行われると思うが、理想は4月からの運用若しくは2学期の始めからで考えていただきたい。開校前年の3学期からとなった場合、中学3年生は受験に向けて大変な時期であり、この時期に時間割編成が行われると生徒にとって負担が大きい。
- ・小中学校が一つになることでまずは9年間のつながりが生まれ、新たな縦のつながりや交流が生まれるので、皆でできることや作り上げられる事がないかという視点で考えていただき、この部会で具体的に考えていただきたい。

○次回の部会での検討事項

- ・制服等のアンケートのたたき台を作成し提示

○次回の日程について

- ・令和7年4月23日(水)17時～ 開催予定